

ペットボトルエコライトづくり



10月7日(土) 1年生から4年生までの小学生11名が参加して、いわみざわチャレンジスクール『ペットボトルエコライトづくり』が行われました。

昼間の太陽光で発電・充電し、夜暗くなると光るペットボトルエコライトを作ります。



最初に「エコ」の意義や太陽電池の歴史と発電原理、LEDの歴史や発光原理についての説明の後、製作に入りました。本体は厚紙をボンドで接着して作っていくので、ボンドの扱いがとても大切です。量を考えながら、広く伸ばして接着していくところを苦労しながらていねいに作っていました。

また、ペットボトルを傷線に沿ってカッターで切っていく作業も頑張ったりとげ、みんな上手にエコライトを完成させていました。



残念ながら、時間の関係で、着色まではできませんでしたが、自分の作ったエコライトが暗いところで光る様子に感嘆の声を上げていました。

これから夜が長くなります。エコライトがそれぞれのお家で活躍してくれるとうれしいです。



今回のペットボトルエコライトづくりは

参加者：小学生11名・保護者6名 計17名

指導者：岩見沢郷土科学館 管理指導員 海野尾泰弘

みなさん、ありがとうございました